

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ①第24回健康ふれあいマラソン大会
- ②スポーツ少年団町内清掃活動／森のひろば
- ③軽舞事務所 秋の特別開放／第3回ディスカバリーカルチャー／初心者陶芸教室
- ④カムイノミ・イチャルパ／ミニバレーボールウインターリーグ／9月定例教育委員会
- ⑤図書室だより
- ⑥放課後子ども教室活動報告

第24回

健康ふれあいマラソン大会



10月14日（月祝）スポーツの日に合わせて、厚真中学校陸上競技場周辺を会場に「第24回健康ふれあいマラソン大会」を開催し、ウォーキングの部を含め88人が参加しました。

コースは参加部門ごとに分かれており、中学生の部男子と一般の部男性は5km、その他の部は3km。気持ち良い秋晴れの下、参加者はそれぞれのペースで快走し、ゴールを目指していました。

各部門の1位の記録は次のとおりです（敬称略）。

中学生

男子（5km）	どい 土居	ゆうすけ 友祐	21分35秒70
女子（3km）	きくち 菊地	りた 莉多	15分23秒28

一般

男性（5km）	かわしま 川嶋	けい 圭	20分21秒50
女性（3km）	かじたに 梶谷	みゆき みゆき	15分35秒25



小学生 男女とも3km

1年生	男子	うちざわ 内沢	いぶき 維吹	19分22秒71
	女子	すがわら 菅原	みつば 三椿	23分59秒62
2年生	男子	はばた 幅田	まひろ 真汎	17分33秒49
	女子	こばやし 小林	みあ 美杏	23分20秒03
3年生	男子	おおとも 大友	はるひと 晴仁	15分42秒67
	女子	おおがき 大垣	とこ 杜子	17分56秒92
4年生	男子	しだ 志田	こうたろう 康太朗	16分21秒74
	女子	すずき 鈴木	きら 季楽	21分30秒93
5年生	男子	うちざわ 内沢	けいと 慶翔	16分15秒19
	女子	あさい 浅井	ゆあ 優杏	16分40秒71
6年生	男子	こばやし 小林	ひろと 優斗	17分56秒09

※6年生女子については参加者無し

一般の部・中学生の部男子の5kmコース参加の方々については、距離計測に誤りがあったため、参考記録となります。なお、記録証は後日配布予定です。

スポーツ少年団連絡協議会主催

町内環境整備を行いました！

10月12日（土）、厚真町スポーツ少年団所属の小・中・高校生、指導者、保護者の37人が厚真中学校陸上競技場周辺の草むしりやゴミ拾いなどの環境整備を行いました。この日は第24回健康ふれあいマラソン大会を直前に控えており、走者の皆さんが当日気持ちよくコースを走れるようにと、参加者全員が声を掛け合いながら活動していました。

整備前は歩道の隙間から背の高い雑草が多く生え、道端にはところどころにゴミが落ちていましたが、活動終了後には見違えるほどきれいになりました。

主催団体である厚真町スポーツ少年団連絡協議会の吉岡博和会長は「少年団は町から多くの支援を受けている一方で、町へ恩返しをする機会は減っています。今回の環境整備は、少年団員から町への恩返しの機会を作ろうと初めて企画した事業です。これからも、自分たちが受けた支援を小さなことから町へ還元できたらと思っています。」と、少年団の子どもたちと町の関わり合いについて熱く語っていました。



町内外から約90人が参加！

秋晴れの中、森のひろば開催！

9月29日（日）厚真放課後子どもセンターを会場に、厚真町の豊かな自然環境の中で、さまざまな体験と新たな発見・気づきを生み出す機会をもつことを目的とした「森のひろば」を開催しました。当日は、雲ひとつない快晴のもと、町内外から親子連れなど約90名が参加しました。

今回は、町内で活動している方々にご協力いただき、馬車体験やロープブランコのほか、工作、火おこし体験などを実施。火おこし体験では「面倒くさい」をテーマに、マッチやライターなど便利なのは一切使わず、有名な舞切り式や火打石等を使った火おこしに挑戦。参加者は、「あー面倒くさい！」と言いながらも汗だくになって取り組み、火おこしに成功する姿などが見られ、普段感じるができない達成感を味わう機会となりました。

この場所は、主に厚真放課後児童クラブの活動で使用している場所ですが、町内のこども園や子育て支援団体等の利用も増えてきました。利用を希望する方は、社会教育グループ（☎27-2495）までお問い合わせください。



軽舞 秋の特別開放事業とせんべい焼き体験

軽舞遺跡調査整理事務所は平日9時～5時のみ一般開放していますが、5月と8月に実施した特別開放日には多くの来場者でにぎわいました。今回も、第3弾として秋の特別開放を11月10日（日）午前9時から午後5時まで行います。

秋の特別開放に合わせた特別企画は、郷土資料を利用した昔ながらの“せんべい焼き体験”を行います。体験事業のみ事前申し込みが必要です。

その他、軽舞遺跡調査整理事務所には昔懐かしい郷土資料がたくさんありますので、この機会にぜひお越しください。

日 時：令和6年11月10日（日） 特別開放 9：00～17：00
せんべい焼き 10：00～、14：00～

各時間先着順 1人5分程度

場 所：軽舞遺跡調査整理事務所（旧軽舞小学校／字軽舞205-2）

参加費：無料 人数制限：なし

申込み：せんべい焼きは申し込み必要 11月6日（水）17：00まで

申込み先：軽舞遺跡調査整理事務所 ☎28-2733（電話は平日のみ受付）
メール shakai@town.atsuma.lg.jp



せんべい焼きの道具



お花の模様があります

第3回ディスカバリーカルチャーを開催しました

10月11日（土）、今年度3回目となるディスカバリーカルチャーを開催しました。

今回のテーマは、プラネタリウム×ダンス。「Dance Studio Saly」から、千歳市在住のダンサー岡本早紀さんを講師として招き、ダンスを指導していただきました。

幼児から大人まで25人が参加し、皆さん思い思いにダンスを楽しみました。最後には全員で「銀河鉄道999」を1曲通して踊ることができ、ダンスの楽しさや魅力を感じる時間となりました。

次の開催は12月を予定しています。詳細については、町ホームページ等をご確認ください。



初心者向け陶芸教室のお知らせ

陶芸初心者の方を対象とした「陶芸教室」を開催します。

今回は、マグカップ作りを行います。自分で作ったカップでコーヒーやお茶を楽しみましょう！「陶芸に挑戦してみたい」「新しい趣味を見つけないか」など少しでも興味がある方は、ぜひご参加ください。

日 時：①作品づくり：11月16日（土）9：30～

②釉 薬：12月（日程未定）

※参加者に後日連絡します。

場 所：創作館じゅらく舎 陶芸室 定 員：10人

講 師：厚真町陶芸同好会会員 参加費：400円（粘土代）

持ち物：汚れてもよい服装、エプロン、お手拭き

申し込み：11月5日（火）17：00まで

申込み先：厚真町教育委員会社会教育グループ

☎27-2495

その他：釉薬に参加することが難しい場合、作品づくりのみに参加することも可能です。申込みの際にご相談ください。

やりたいこと、挑戦しよう！

初心者向け陶芸教室

初心者向けの陶芸教室を開催します。
今回作るのは、マグカップ。

親子で、友人同士で、もちろんお1人様でも大歓迎です。
自分の手で作った、世界に1つだけのカップで飲む
コーヒーやお茶は一般とおいしく感じるはずです！
皆さんのご参加、お待ちしております。

日 時：①作品づくり
11月16日（土）9：30～作業開始
②釉薬
12月（日程未定）
※参加の方に後日お知らせします。

場 所：創作館 じゅらく舎
講 師：厚真町陶芸同好会会員
定 員：10名
持ち物：汚れてもよい服装、エプロン、
お手拭き
参加費：1人400円（粘土代）

申込について

申込・問合せ先：厚真町教育委員会社会教育グループ
☎27-2495
申 込 期 限：11月5日（火）17：00まで
そ の 他：釉薬に参加することが難しい場合、作品づくりのみに参加することも可能です。申込の際にご相談ください。

アイヌ民族伝統儀礼関連事業 ～神々への祈りと先祖供養 そして精神文化に触れて～ カムイノミ・イチャルパとイナウ製作体験

アイヌ文化の継承や理解促進を目的に、伝統儀礼のカムイノミ（神々への祈り）とイチャルパ（先祖供養）が10月6日（日）、厚真アイヌ協会主催（後援：厚真町・厚真町教育委員会）により執り行われました。儀式は、昨年12月に完成した厚幌ダム右岸のダム湖眺望広場にあるチセ風あずまやを会場に、今年度新調した漆塗りの立派な祭具一式を用いて行われ、これまでにない、とても厳かで盛大なものとなりました。

一般参加者や関係者等を含めた81人が見守る中、一つひとつのモノや事柄などの日常への感謝と、これからの安寧への祈りの言葉がアイヌ語で捧げられました。儀式の後には、苫小牧市やむかわ町のアイヌ文化保存会による古式舞踊の演舞のほか、学芸員による厚幌ダム建設に伴う遺跡発掘調査成果の解説も行われました。

また、前日の10月5日（土）には、軽舞遺跡調査整理事務所でアイヌ協会員が講師となり、大切な祭具であるイナウの製作体験を実施。参加者は5人と少人数での開催となりましたが、一人ひとり真剣に思いを込めたイナウを製作することができました。

教育委員会では、今後も厚真町の歴史を育んできた先住民族アイヌの文化への理解促進と、国も進めている民族共生理念のもと、認め学び合い、多様で魅力ある厚真町の歴史文化に関する情報発信に努めてまいります。



厳かに執り行われたカムイノミ



男性が剣を振り舞う古式舞踊

第30回

ミニバレーボール ウィンターリーグ

日 時 11月24日（日）
開 会 式 9：00
終了予定 16：00
場 所 厚真町スポーツセンター
参 加 料 無料
参加対象 中学生以上（Bリーグの男女混合チームは40歳以上）の町民または町内に職場を有する方（厚真高校生も可）
参加方法 11月15日（金）までに、参加申込書を下記あてに持参またはFAXで提出してください。

※大会の詳細については、自治会回覧のチラシをご覧ください。

【申込み・問合せ】

教育委員会社会教育グループ

☎27-2495 / FAX27-3178

9月定例教育委員会

9月26日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

◆報告事項

9月校長会議、教頭会議について／通学路安全推進会議について／英会話教室（第2期目）について／土器の野焼きについて／英会話教室（第二期目）について／森のひろば／二十歳のつどい実行委員会の発足／厚真町文化祭ウィークの開催予定

◆議案

教育委員会事務局職員の人事について

◆協議

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について

◆同意

厚真町教育委員会表彰について

◆その他

令和6年度教育委員と小中学校PTA役員保護者との懇談会について／厚真町花卉部会からの花束贈呈について

★問合せ

教育委員会学校教育グループ

☎27-2494

図書室だより

青少年センター図書室

☎ 27-2495 (平日)

☎ 27-2321 (土日)



調べ物は



百科辞典・図鑑を使ってみよう

辞書や図鑑の引き方を覚えておくと、野原で虫を捕まえて名前を調べたい時や食べられるキノコかそうでないかを調べる時に便利です。

百科事典…調べたい言葉がはっきりと決まっていないうちに使うと便利です。一つの項目の説明文は短くまとめられているので、説明文の中にある言葉から、次に調べる言葉のヒントが得られます。

目次と索引の違い…その本にどんなことが書かれているかを知りたい時には目次、調べる言葉がはっきりわかっている時には索引が便利です。

凡例(この本の使い方)を読もう…ほとんど辞書や図鑑には凡例というページがあり、本の使い方が書いてあります。

辞書や図鑑のことを参考図書といい、図書館によっては参考図書(レファレンス)コーナーがあります。自分だけで調べることが難しい時は、調べることを専門にしている図書館司書に手伝ってもらうこともできます。厚真町の近くでは、苫小牧市立中央図書館でレファレンスサービスを行っています。

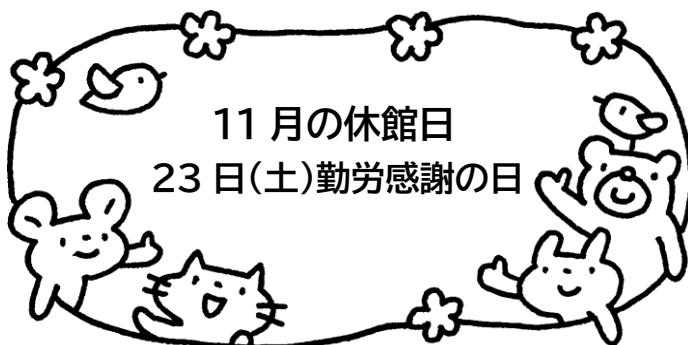
紙の辞典は重くて持ち運びには向いていませんが、スマートフォンで辞典などのアプリを使えば、山登りで見つけた高山植物を採取することなく、その場で名前や生態を調べることができます。家に帰ってきてから、本を使って詳しく調べてみるのもいいですね。

11月3日に開催する図書フェスティバルでは、図書コーナーで調べるクイズイベントを開催します。辞書や事典、図鑑を活用してクイズを解くイベントです。漢字や、名物、地名など本を調べれば必ず解ける問題ばかりですので、ぜひご参加ください。

図書フェスティバル

開催日時 11月3日(日)
9時から15時まで
場 所 青少年センター

リサイクル図書・雑誌配布会
調べればわかる! クイズコーナー
お楽しみ工作コーナー
デジタルそろばんそろタッチ体験



11月の休館日
23日(土) 勤労感謝の日

■青少年センター図書室開館時間
9時00分～17時00分(月・水・金・土・日)
9時00分～19時00分(火・木)
※祝日、年末年始は休館となります。

■厚南会館図書室
9時00分～17時00分(月～日)
※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は
休館となります。

あそびに
きてね!

11月の「おはなしのびっ子」による絵本の読み聞かせは、
28日(木) 10時00分から10時30分まで
場所：厚南子育て支援センター です



☆ 放課後子ども教室活動報告 ☆

今年の秋の始まりは、夏の名残を色濃く残してきたもので、すっかり油断してしまっていました。10月に
入った途端、一気にやってきたこの時期らしい冷え込みが体に堪えます。バタバタと慌ただしく衣替
えをしたものの、着込み過ぎて暑かったり、薄着過ぎて寒かったり、温度調整にもひと苦労。雪の便り
が届くのを前に、冬用の上着や外靴は、余裕を持って準備したいと思います。

道を歩くと、茶色いイガに包まれた栗や、可愛い帽子をかぶったドングリが足元に。見上げる木々
の葉っぱは赤や黄色にお色直しをするこの季節、身近にある小さな秋を探しに、子どもたちと学校周
辺の散策に出かけました。枯れて水分の抜けたイタドリは、軽くて子どもたちのチャンバラ遊びにピ
ッタリです。戦うときは正々堂々と1対1で勝負を挑み、ちょっとしたかすり傷をつくりながらも、
お気に入りの長い剣を手に駆け回っていました。秋の野の花は紫やピンク、白に黄色と落ち着きを感じ
る色合いがとても美しいです。ススキやドライフラワーのように枯れた猫じゃらしを加えると、よ
り秋を感じられる花束が出来上がります。いろんな角度からバランスを見て、花や葉っぱを足しなが
ら、可愛く仕上げたブーケを手に、満足そうな表情を浮かべる子どもたちでした。秋の空は天気も変
わりやすく、雨が上がった隙間時間をぬって外に出たのですが、一瞬、ポツポツと天気雨にあたる日
もありました。急いで体育館へ向かって走る途中、「あ！虹だー！！」という子どもたちの声に振り返
ると大きな虹がかかっていました。お日さまパワーで色も形もはっきりとキレイに見えます。虹に出
会ったあとには、何か良いことが待っている、そんな気持ちになります。虹を見上げる子どもたちの
目も、虹と同じくらい明るく輝いていました。

9月後半、10月にかけて子ども教室のプログラムでは、子ども同士のコミュニケーションをはか
るレクリエーションゲームを実施しました。『謎解き宝探し』では、お宝（お菓子）を目指し、簡単な
暗号やクイズを、ヒントをもとに解いていきます。最近、手話を習ったという子の話を聞いていたの
で、問題を解くヒントに指文字を取り入れたものを用意してみました。また、10月31日のハロウ
ィンにちなんだゲームでは、トイレットペーパーを使ったミイラづくり競争などを行いました。チー
ムで協力しながらゲームを楽しんでくれたようです。

